

がくねん がっきゅうべつざいせきじどうすう
 <学年・学級別在籍児童数>

れいわ ねん がつ にちげんざい
 令和7年5月1日現在

がくねん 学年	ぐみ 組	おとこ 男	おんな 女	けい 計	がくねん 学年	ぐみ 組	おとこ 男	おんな 女	けい 計
1	1	19	15	34	4	1	13	13	26
	2	19	14	33		2	14	12	26
	けい 計	38	29	67		3	14	12	26
2	1	14	14	28		けい 計	41	37	78
	2	15	14	29	5	1	16	19	35
	けい 計	29	28	57		2	17	19	36
3	1	14	16	30		けい 計	33	38	71
	2	14	15	29	6	1	13	14	27
	3	15	15	30		2	13	13	26
	けい 計	43	46	89		3	13	13	26
						けい 計	39	40	79
					ごうけい 合計		223	218	441

1. 沿革の概要

明治 6年 5月10日

明治 7年

明治 8年

明治11年 9月

明治19年 4月

明治26年 4月

明治41年 4月

明治42年 4月

明治43年 4月

大 正 7年 4月

昭和元年 3月

昭和11年 3月

昭和16年 4月

昭和20年 4月

昭和22年 4月

昭和29年 3月

昭和36年 6月

昭和37年10月

昭和42年10月

昭和44年 5月

昭和45年 3月

昭和45年 7月

昭和46年10月

昭和48年 3月

昭和48年 5月10日

平成 2年 9月

平成 6年 3月

平成17年 3月

令和 5年 5月10日

法元寺本堂（仮用）にて堀溝郷学出張校として創立される。※（5月10日が創立記念日となる）

八十四番小学と改称

田原小学と改称

現四條畷市大字下田原に移転（以上市史より）

田原尋常小学校と改称

校舍改築

二学級編成となる

役場を移転し、敷地を拡張する

校地拡張し増築完成

三学級、三職員制となる

北河内郡田原尋常小学校が発足

新校舎落成（昭和9年室戸台風により校舎破損のため）

北河内郡田原国民学校と改称

校舎を兵士宿舎に転用 学校機能一時停止

田原村立田原小学校と改称

講堂新築落成

四條畷町立田原小学校と改称

鉄筋校舎6教室及びプール落成

運動場拡張

体育倉庫新築

校歌制定「はげましあって進もうよ」

四條畷市立田原小学校と改称

体育館兼講堂新築

特別教室等建設

創立100周年

現在の田原台四丁目に移転

（以上校舎移転記念誌「たわら」より）

校舎増築（北館西側）

校舎増築 新館（東館）完成

創立150周年

2. 児童数の推移

ねん年	ざいせきすう在籍数	ねん年	ざいせきすう在籍数	ねん年	ざいせきすう在籍数
しょうわ昭和63	101	へいせい平成13	573	へいせい平成26	738
64	113	14	628	27	696
へいせい平成 2	121	15	642	28	680
3	147	16	672	29	641
4	206	17	699	30	566
5	285	18	758	31	552
6	361	19	775	れいわ令和 2	539
7	428	20	791	3	506
8	470	21	816	4	495
9	519	22	811	5	501
10	585	23	814	6	471
11	589	24	809	7	441
12	611	25	782		

3. 令和7年度 学校教育目標

様々な課題に向き合い、自ら主体的に物事に取り組むことのできる子どもの育成

<学校スローガン> 「認め合い、支え合い、助け合い」

<合言葉> 「ありがとう」と「大丈夫」

<5つのキーワード>

1. つながり（あいさつ、思いやり）

人と人とのつながりはいさづから始まります。元気にあいさつし、相手の気持ちを考えて、行動する。そして、「おはよう」「ありがとう」「大丈夫？」「〇〇ですか？」の声が自然と聞こえる学校をめざします。

2. 共感と安心感（安心感のある集団づくり）

失敗しても大丈夫。みんな仲間。認め合い、支え合い、助け合うそんな学級集団、教職員集団をめざします。

3. チャレンジ（まずは、やってみよう）

「できるかなあ」「分かるかなあ」と悩む前にとにかくやってみよう。一人で無理なら、みんなで協力してやってみよう。一歩踏み出せば必ず得るものがあります。失敗しても「どうしたらうまくいかな？」「次はこうやってみよう」と考えることが成長、成功の第一歩！

4. 感謝（ありがとうを大切に）

人は一人で生きていくことができません。また、何かやり遂げたとしてもその陰には誰かが支えてくれたり応援してくれているのです。いつも「ありがとう」を意識することができ、周囲に思いを馳せられる子どもの育成をめざします。

5. 家庭・地域との連携（同じ方向を見て）

保護者、学校、地域が願う子どもの健やかな成長への思いは同じです。子どもたちみんなが立派に成長し、しっかりと自立していきたくて願っています。様々な機会を捉え子どもたちの様子などを交流し、子どもの育ちを一緒にサポートしていきたいと思います。

4. 令和7年度 研究テーマ

自立した学習者の育成

～子どもが主体的に学ぶ算数の授業づくりを通して～

5. 令和7年度 教職員

（令和7年5月1日現在）

公開していません